

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官 ケネス E. モス大佐 殿

防衛省 小野寺五典 防衛大臣殿

防衛省北関東防衛局 吉田廣太郎 防衛局長殿

要請及び抗議文

2018年7月2日

日本共産党福生市議団 代表 奥富喜一

池田公三

日本共産党福生市委員会

市毛雅大

オスプレイの横田基地への飛来・配備・訓練を直ちに中止するよう要請し、併せて、事前連絡なし、情報提供なしと言う不誠実な対応に抗議する

私たち日本共産党福生市議団及び市委員会は、6月12日の北朝鮮とアメリカとの戦争終結に向けての合意と言う状況の大きな変化を大歓迎し、この方向が進む障害ともなり得るオスプレイの横田基地への飛来・配備・訓練を直ちに中止するよう求めます。ましてや、特殊部隊であるCV-22 オスプレイの横田基地配備は絶対に中止すべきと考えます。

ところが、横田基地においては2018年4月3日外務省・防衛省が突如「CV-22 オスプレイの横田飛行場への配備について」を公表、4月5日には横田基地に5機飛来（事後報告）、4月13日5機離陸（事後報告）、5月29日5機着陸（事後報告）、6月4日5機離陸（事後報告）、6月23日4機着陸（事後報告）、6月28日2機が周辺飛行、離着陸訓練の繰り返し（この飛行に関して、米側からは「運用に関することであり回答できない」旨の説明）、6月29日2機が離着陸訓練、旋回飛行（説明も報告もなし）と、米朝会談に水をさすような進行をしています。

事前連絡なし、情報提供なしと言う不誠実な対応と併せて、CV-22 の横田飛行場配備への方向が着々と進められています。住民の不安は日増しに増しています。

住民の安全・安心への願いを踏みにじり、国際環境の変化に逆行するこのような米軍及び防衛省・防衛局に対して断固抗議するものです。